



滿鐵密檔

# 滿鐵與侵華日軍

(一八)

遼寧省檔案館編  
廣西師範大學出版社

保% 27  
 北調農政 2  
 乙資分 258.1  
 印 150

昭和十三年三月

農 津  
 村 浦  
 竝 沿  
 宣 線  
 撫 地  
 班 帶  
 狀 (濟  
 況 南  
 一 天  
 津)  
 二 於  
 ケ  
 ル

滿鐵。北支事務局調査室

314.2  
 21  
 38

## 凡 例

一、本報告ハ昭和十三年二月十日ヨリ同十八日ニ亘リ濟南・天津間ニ於ケル宣撫班駐在地七箇所ニ於ケル災害地種子配給數量豫想調査ニ際シ各地方ヘノ見聞ヲ集録セルモノナリ

一、本報告ハ災害ノ影響下ニ於ケル農村ノ復興ニ努力中ノ各地宣撫班ノ活動可能地域内ニ限定サレ昨年來調査室ニ於テ與ヘル同地帯ノ災害調査報告ノ其ノ後ノ狀況ヲ語ルモノナリ

一、災害地種子配給豫想數量ニ付テハ別途報告濟ナリ

一、調査並執筆者 内 田 藤 吉

昭和十三年三月七日

調査室農政係

2-

|             |  |
|-------------|--|
| 目次          |  |
| 一、治安概況ト宣撫班  |  |
| 二、流通狀況      |  |
| 1、物資        |  |
| 2、金融        |  |
| 三、一般農作物事情   |  |
| 四、家畜事情      |  |
| 五、公共機關活動狀況  |  |
| 六、民間ヨリノ要望事項 |  |
| 七、結論        |  |

## 第一章 濟南地方

## 一 治安概況ト宣撫班

二月十一日現在ニ於テ筆者ノ見タル濟南市内ハ概シテ平靜ニ且比較的商況殷盛ニシテ復興氣分漲リ殊ニ城内ハ商埠地ノ商店約八分迄開業ノ狀態ニアリ老若男女市中ニ溢レ何等平常ト變リナク寧ロ皇軍入城ニ依リ平常ヨリ活氣ヲ呈シ居ルカニ見ユルモ日本人カ城内ヘノ交通ニ對シテハ證明書ヲ有スル者ノミノ交通カ許可サレ、日本軍ニ依リ城門ノ警戒ヲ爲シ居レリ

宣撫班ニ於テ聽取スルニ皇軍入城後直ニ治安維持會ノ設立ヲ慫慂シタリシモ有力者ハ後難ヲ恐レテカ會長トナルヲ欲セス、成立當時ノ治安維持會ハ有名無實ノ存在ナリシト謂フモ日ヲ經過スルニ從ヒ皇軍ノ意圖ヲ諒解宣撫班ノ活動亦大ニ貢獻スルトコロトナリ目餘ニシテ次第ニ自發的且積極的ニ活動スルニ至リタリト謂フカ此ノ點後述スル各地ノ治安維持會設立狀況ト大ニ異ルトコロアリ、將來共人民指導、民心慰撫ニハ一層注意ヲ要スルモノト感セラル

尙當地宜撫班ニハ會テ新聞紙上ニモ掲載サレタル女子宜撫班員モ其ノ後次第ニ其ノ數ヲ増加シ男子宜撫官ト共ニ街頭ニ立チテ戰後事態ノ收拾萬般ノ用務ニ任シ皇軍ノ活動竝人心ノ安定ニ大ニ貢獻シ居ル點特記スヘキモノアリ。

## 二、流通狀況

### 1、物資

事變ノ爲交通杜絶シ殊ニ黃河鐵橋ノ破壞ニ依リ月餘ニ亘リ列車運行不能トナリ、德縣ヨリ先ハ僅ニ不定期ノ軍用列車ヲ通セシノミナリシ爲一時物資缺乏ニ依ル物價ノ異常ナル暴騰ヲ見（諸物價共二―四割高）タルカニ二月十一日ヨリ普通旅客列車モ一日一司運行スルニ至リタルヲ以テ漸次緩和サレ現在不足物資トシテ特ニ擧クヘキモノナケレトモ尙事變前ニ比シ諸物價ハ一―二割高ノ如シ

### 2、金融

事變後總テノ金融機關ハ閉鎖シタルニ依リ金融ハ梗塞シタルモ濟南銀行ノ營業ニ依リ幾分緩和サルニ至リ現在辛ウシテ取引ニ應ジ居ル

# 狀態ナリ

## 三、公共機關活動狀況

事變ノ爲公共機關ノ代表者ハ殆ト全部逃亡シテ全然閉鎖シタルモ前述ノ如ク皇軍入城後宣撫班員ハ之ト協力治安維持會ノ設立ヲ慫慂シ十二月二十九日之カ發會式ヲ舉行セシメタルモ當時ハ全ク有名無實ノモノニシテ何等自發的活動ヲ爲ササリシモ次第ニ皇軍ノ意圖宣撫班員ノ活動ヲ諒解シ積極的ニ活動ヲ開始スルニ至リ現在支那側機關トシテ最活動ノ顯著ナルモノタリ、尙別途商務會モ之ト併行シテ皇軍ノ行動ニ盡力活動シ初タリト謂フ

更ニ現在省公署ニハ數名ノ日本人顧問及日後著任シテ行政、經濟、產業ノ復興ニ著手セリト謂フ、其ノ他公安局方面ハ幹部級ハ全部逃亡シタルモ下級巡查階級ニ至リテハ事變後ト何等變化ナク皇軍ニ協力市中治安維持ニ任シ活動シツツアリ

## 第二章 禹城地方

## 一、治安概況・宣撫班

本地方ノ治安狀況ハ十二月末皇軍一舉ニシテ舊河渡跡濟南陥落ト矢次早ノ情勢變化ヲ見タル爲、地方民衆ハ一段ト皇軍信賴ノ渡ヲ強メ南方ニ避難中ノ民衆ハ先ヲ爭テ歸來シ、已ニ一月中旬頃ニ於テ特殊事情ヲ有スル者ノ外ハ殆ト歸郷シ、一面頗ル平和郷ヲ現出シ居ルモ、戰火ヲ蒙ルタル家屋ノ復興ト一方缺乏物資ノ補給、經濟關係等ニテ窮狀ニアル者少カラス。殊ニ鐵路遠距離地點（五、六邦里乃至十餘里ノ地點）ハ敗殘兵（七十四師）ノ便衣化セル者各地ニ散在シ、此ノ種徒輩ハ舊土匪等ト糾合當ニ皇軍ノ手薄地方ニ蹣跚シ、種々ナル所謂美名（救國軍資金又ハ仇敵防備費等）ヲ利用シ、鉅智ナル農民ヨリ強制的金品ヲ要求或ハ掠奪シ、應セサル者ハ奸淫ト稱シ殺害又ハ人質或ハ燒打等ノ如キ行動ニ出テツツアル狀態ナルモ之ニ鑑ミ縣下住民ハ防備ノ手段トシテ各區ニ自衛團ヲ組織シ、正式ニ銃器ノ管下ヲ要望シ居レリ。宣撫班ニ於テハ軍ニ於ケル之等匪跡ノ討伐ヲ容易ナラシムヘク各地ニ密偵

ヲ派シ、匪賊狀況調査等其ノ他戰後事態ノ收拾萬般ニ重ト協力努力シ  
ツツアリ。

## 二、流通狀況

### 1、物資

本地方モ一時交通杜絶ノ爲、物價ノ暴騰ヲ見タルモ、就中石油、洋  
火、洋綿、食鹽等ハ日常生活必需品中最不足ヲ告ケタルモノニシテ  
石油ノ如キハ事變前ニ比シ三割高ヲ示シタルコトアリシモ、漸次緩  
和サレツツアリ。現在一罐六圓五、六十錢程度ナリ。農耕用機具及  
家畜ニ付テ本縣治安維持會長ノ言ヲ綜合スルニ、前者ニ於テハ本春  
農耕ニ差支ヲ生スル憂ナク、亦後者ニ於テモ事變ノ爲喪失シタル家  
畜ハ全數ニ對シテ少數ナレハ現状ニテモ本春耕作ニ大ナル差支ヲ生  
セスト觀察シ、親戚縁者等ヨリ互ニ融通シ合ハハ先ツ何トカ耕作ハ  
出來得ヘシトノコトナリ。

### 2、金融

本地方ノ金融機關トシテハ當鎮一（濟南ノ支店）貨棧約一〇軒、絹

-8- 四 家畜事情

棧約二〇軒アルモ、當舖ハ勿論開業シ居ラス、貨棧、糧棧モ主トシテ從來隣縣ノモノヲ取扱ヒ來リタルモノニシテ、現在背後治安恢復ニ至ラサル爲、何等取引ナク、殊ニ主トシテ禹城驛ニ店ヲ有スル之等貨棧、糧棧ハ事變ノ際殆ト軍隊ノ駐屯スル處トナリタルニ依リ家屋中ノ木材部分ハ殆ト全部破壊、軍隊ノ燃料トサレ、之ヲ補修開業ニ到ル迄ニハ尙相當ノ日子ヲ要スルモノト思ハル。

三 一般農作物事情

小麥、棉花、落花生、豆子ハ本縣農產物ノ主タルモノニシテ、殊ニ棉花ノ全部落花生ノ七割ハ例年濟南ニ移出サルモノナルモ、事變ノ爲生産物現至ニ至ル迄殆ト滯貨狀態ニアリ、サナキタニ水害ニヨリ例年ニ比シ農作物不作アリ、一層農民ヲ苦シメ居ルモノニシテ鐵道ノ復舊貨車ノ定時運行ハ全農民ノ等シク希望シ居ル處タリシカ、二月十一日ヨリ列車常時運行ノ廣告ハ各地ニ行キ渡リシモノノ如ク、歸途二月十三日ニハ禹城驛ニ棉花ノ積載サレ居ルヲ見タリ。

事變ノ爲、家畜ノ喪失ニ依リ本春ノ農料ヲ不能ナラシムル地モ尠カラサルヘシトハ獨リ筆者ノ想像ノミナラス、此ノ點ニ付特ニ本縣治安維持會長ヨリ聽取スルニ想像ニ反シ勿論喪失シタルモノモアレト少數ニ止リ、之カ爲本春ノ農耕上大ナル差支ヲ生セス現在迄ノ調査ニ依レハ有無互ニ融通シ合ハハ、差シテ困難ヲ感セサルヘシトノコトナリ。

#### 五 公共機關活動狀況

舊縣政府要人ハ縣長、各科長ヲ始メトシテ殆ト全部皇軍入城ノ二日前ニ逃亡ス。商務會長ハ城內有志ヲ糾合シテ皇軍ノ入城ヲ迎ヘ直ニ治安維持會ヲ組織シタル爲、現在ニ於テハ内容モ整備シ官廳班ノ指導協力モ大ニ百ナリアリ、愛路村ノ結成モ行ハレ、正式ニ縣長、科長ノ任命ハ見サルモ、城內廟內ニ事務所ヲ設ケ（舊政府建物ハ現在陸容ニテハ廢キニ過クル爲）商務會長並治安維持會長トシテ全縣行政ノ復興ニ任シ居レリ。

商務會ハ會長直ラ治安維持會會長トシテ活躍シ居ル爲ト事變後ノ麻路等ノ爲經費モ充分ナラス事實上現在有名無實ノ狀態ニ在リ、從テ各地

10-

方ニ於テ現在最活動シ居ルモノハ治安維持會ト官撫班ト謂フヲ得ヘシ。

### 第三章 德縣地方

#### 一、治安概況

本地方ノ治安狀況モ禹城地方ト大差ナク、城内及鐵路ヨリ三四邦里以内ニ於テハ、匪賊及敗殘兵ノ出沒ナク、避難民モ殆ト全部歸來シ、殊ニ城内ハ最近迄本地力鐵道ノ終點タリシ爲濟南進出ヲ目指シテ一時往機臨時開業中ノ邦人各種商店軒ヲ並ヘ、停車場通ハ恰モ邦人街ノ感ヲ呈シ居リ、殊ニ事變後ノ不足物資、石油。煙草。洋火。砂糖ハ貨物列車ノ開通ニ依リ、一時ニ町ニ溢レ、之等ヲ購入セムトスル者ノ往來ト更ニ田舎ヨリ運搬サレル棉花ノ山ニテ、町中ハ步行困難ヲ感スル程ノ人出アリ、御祭氣分サエ見エ、頗ル平和殷賑ヲ極メ居タルモ、宣撫班及治安維持會ニテ聽取スルニ、鐵路四、五邦里以外ノ地點ニハ各地ニ匪賊出沒盛ニシテ、農民爲ニ苦シム等、禹城地方ニ酷似シタル點夥シトセス。

宣撫班ニ於テハ、密偵ノ派遣匪賊情報ノ蒐集等ニテ之カ討伐ノ方法及時期等ニシテ日本軍ト協力善處シ居リ。

## 二、流通狀況

## 1、物資

前述ノ如ク津浦線ノ本地迄ノ開通ハ早カリシ爲、貨物ノ輸送比較的順調ニ運ヒシト、更ニ慰安列車ノ運行ニテ物資ノ配給モ適當ニ緩和サレ、調査當日ノ如キハ石油。煙草等ハ町ニ溢レテ、勿論不足ヲ告ケ居ルト思ハレサリシモ、尙本地ヲ基點トシテ之等ノ物資カ各田舎ニ分配サルルコトハ治安恢復シタル地方ヨリ之等物資買出シニ來ル者及町商人ノ言ヨリ明ニシテ、尙普ク分配緩和サルル迄ニハ至ラス棉花ノ城内ニ搬入サルルモノモ調査當時尠カラス、次第ニ増加ノ傾向ニ在リ。

不足物資ノ主タルモノハ石油。煙草。洋火。洋布。白糖。氷糖等ニテ、治安維持會ニ於テ總取シタルモ石油ノ如キカ一罐最底シタルトキニ於テ七圓乃至八圓ニ達シ、現在六。〇〇乃至五。五〇圓ニナリタルハ幾分物資不足ノ緩和サレツツアル證左ニシテ、住民モ之ヲニメ居ルモ、尙事變前ノ一罐四。八〇圓ニ比シテハ二倍高ヲ示シ居

ル状態ナリ。

## 2、金融

金融ノ枯渴状態ハ、各地ト同様ニシテ、調査當時ニ於テハ何等活動シ居ラス、記スヘキモノナシ。

## 三、一般農作物事情

本地方ニ於テモ水害及兵禍ノ農作物ニ影響シタル處甚大ニシテ、棉花ハ三分作、其ノ他ノ作物ハ四分作ト稱シ居ルモ、本年ノ春耕種子ナキモノハ二三割程度ナラムト稱シ居レリ。禹城縣ニ於テハ、小作ハ殆トナシト維持會ハ稱シ居リシモ、本縣ニ於ケル分種ハ全農ノ二割程度ニシテ、何レモ兵禍竝水災ニ因ル被害ハ土地所有者ニ比シ一層激烈ニシテ、小作料ノ支拂不能ナルモノ多キヲ以テ、今春ノ租地小作ニ關シニハ特種ノ便法ヲ考究中ナリト維持會ニ於テハ稱シ居レリ。

## 四、家畜事情

-13-  
皇軍入城以前約六箇月間ニ亙リ城内ニ約六〇〇〇名以上ノ支那軍駐在シ、城内外ヲ荒シタルコトト、退却ニ際シテ掠奪シタル爲ニ家畜ハ頗

ル減少シ、農耕ヲ目前ニ控ヘ農耕用家畜ノ減少ニ對シテハ維持會ニ於テ頗ル憂慮シ居リ、家畜ノ値段ハ最近著シク昂騰シテ、騾子。驢ノ如キハ事變前ノ二倍ニナリタルモノモアリト稱ス。此ノ點禹城縣地方ト全ク事情ヲ異ニシ居ルカ如シ。

#### 五 公共機關活動狀況

舊縣政府ノ要人ハ縣長ヲ始メトシテ殆ト全部逃亡シ、縣政府ハ全ク空建物ト化シ、現在治安維持會ハ城內商務會內ニ於テ總テノ政務ヲ臨時代行シ、宣撫官ハ日々之カ指導ノ任ニ當リ居ル點禹城縣ト大同小異タリ。宣撫班ハ維持會ヲ督勵シテ已ニ鐵路愛護村ノ設立ヲ行ヒ、一日一報主義ヲ實施シ居ル點禹城ト又異ラス。